

数の表現

ITエンジニアは仕事の上で数について話すことがよくあります。でも数の読み方には何種類もあり簡単ではありません。数にまつわる英語を集めてみました。アクセントが難しい単語には太字でアクセントを示しました。

値段

\$1200は One thousand (and) two hundred dollars でもいいですし、Twelve hundred dollars でもいいです。後者の方が短いのでよく使います。Hundred に複数のsはつきません。単位の dollar にsがつきます。\$10.30は Ten thirtyと言います。Ten dollars (and) thirty cents と長くいつてもかまいません。前者のほうが短いのでよく使います。

\$10,000は Ten thousand dollars です。エンジニアの間では10k (ten k) dollars ともいいます。これはkに kilo の意味があるからです。

《日本語は4桁ごとに呼び方が変わります。万、億、兆という具合です。英語は3桁ごとなのでややこしくなります。日

本の人口は1億3千万人ですね。英語だと130 Million になります。アメリカの人口の約半分です。百万が1 Million なので、これを手がかりに考えます。Million は1/1000を意味する milli とつづりが近いので、誤解をさけるために1MMと書く場合もあります。エンジニア的には Mega になります。なおメトリック単位系の Mega, Giga, Tera, Peta, Exa, Zetta, Yotta には大文字を、それ以外には小文字を使います。》

時刻

英語には零時がないので、かわりに12時といいます。昼休みは12pmから1pmまでです。アナログ時計の文字盤を思い浮かべてください。12pmと noon は同じ時刻です。反対に真夜中は12amもしくは midnight です。太陽が一番高い位置にあるときが正午ですね。英語でもamは午前、pmは午後を指します。ただし12時はその境目にあるので曖昧です。英語の12pmは正午のことだと覚えましょう。今のところ英語に25時という表現はありません。